

# 子供性犯罪がロンドンで 30%上昇し、ペド・ギャングは自由 に徘徊

サディク・カーン・ロンドン市長のもとで、子供に対する性犯罪がこの1年で急  
上昇

【訳者注】これは7/8記事「1万の子供が・・・」への補遺と考えていただいてよい。ただ、この情報によって、問題の深刻さは増したように見える。このサディク・カーンという、イスラム教徒のロンドン市長を、論者は疑っているようだ。子どもへの性犯罪が異常に急増しているのに、本当に何の処置も講じないとしたら、なぜなのかという疑問は起こる。テルフォードとロザラムという2つの町では、大量の少女が犠牲になったのに、警察は動かなかったという話も、信じがたいほどひどい。何より「問題の根本原因を究明する動きが全くない」というのが最も深刻である。しかし、これは基本的には、我が国を含めた西側世界全体で起こっている現象である。犯罪者に協力する者は保護され、優遇され、正しい者、深くものを考える者は暗殺される。せめてこのような事実だけでも知っておくべきである。

Jay Greenberg, [www.neonnettle.com](http://www.neonnettle.com)

July 9, 2018



ペドフィリア犯罪が、Sadiq Khan ロンドン市長のもとで、30%急上昇した

爆弾的新統計によると、子供対象の性犯罪が、サディク・カーン・ロンドン市長になって過去1年の間に、30パーセント急上昇し、一方、ペドファイルのグルーミング（grooming、巧妙に子供に取り入れること）集団も増加している。

統計の示すところでは、イギリス首都で強姦されたと報告された子供たちは、過去12か月間に、1200という驚嘆すべき数値に昇っている。

今年初めに、過去1年間のロンドンの子供への暴力レイプは、20パーセントのスパイクを示し、警察は、この急騰の背後に何があるのか「全くわからない」と言った。

この問題は、しかし、カーン市長によって全く無視されているように見える。統計からは、ペドフィリアは増加し続けていて、何らかの処置が取られた様子は見えないからである。

3月には、首都警察が、子供慈善団体 Barnardo's と協力して、この問題についての認識を高めるための会議を、共同主催した。

強姦や性的搾取の子供犠牲者を救出するための、先駆的な計画は動き出したが、**問題の根本原因を究明するイニシアティブ的な動きは、何もない。**

「性的に搾取された子供たちは、完全に脱力感に陥ることがあり、強姦されたり性的に襲われることは、しばしば、トラウマによる衰弱症状を引き起こします」と、バーナードウズ・ロンドン支部の子供保護副主任 Jessica Juon は言い、犠牲者たちの精神的ケアの重要性を説明した。



刑事監督官の Steve Elien は、首都警察は、子供に対する性的搾取犯罪を、どのように記録し認識するかを改善しようとしているが、その数値は、犯罪の数量の上昇を示すものであろうと言った。<https://www.breitbart.com/london/2018/03/17/child-sex-offences-soar-khans-london/>

彼は言う：「子供の性的搾取は、我々にとって、確実に優先課題であり、我々はそれを見つけ、対処ことが、だんだんうまくなっている。我々は人々に、隠さず報告するようにお願いしている。」

首都警察は、ロンドンには、Telford や Rotherham (ロザラム) のような町と、同じスキャンダルが起こっている証拠はないと言った。これらの町では、“**政治的に正しい**” 警察や官憲が、何百人もの少女が強姦され、殴打され、売買されていたのに、何の行動も取らなかった。<https://www.breitbart.com/london/2018/03/11/mirror-revealed-police-failed-act-1000-girls-beaten-pimped-raped-even-killed-40-years-britain-worst-grooming-scandal/>

ただ、Evening Standard 紙によれば、ロンドンの警察官たちは、「ギャングとつながる子供性搾取や、County Lines の麻薬取引のような問題には、ちゃんと取り組んでいる」と言っており、同紙は、警察が昨年、ストラットフォードのマクドナルド店のあたりで活動していた、「13 歳もの若い少女たち」を狙う グルーミング一味 を、摘発したことを認めた。<https://www.breitbart.com/london/2017/12/11/suspected-london-grooming-gang-targeted-girls-as-young-as-thirteen/>



警察は、子供に対する性犯罪が、なぜサディク・カーンのロンドンで、うなぎ登りしたのか、「全くわからない」と言う

実際、スコットランドヤード（ロンドン警視庁）は、性的搾取や強姦の危険のある子どもたちの安全を守ることが、12 か月前より下手になっていると、11 月に公表された報告書は言っている。

検察捜査局のソースによれば、これは警察の歴史で「最も忌まわしいコメント」だが、それは、イギリスの最大の警察力が、子供保護ケースの 90 パーセントを、正しく取り扱うことができなかったと言う。

この気がかりな報告について見解を求められた、首都警察コミッショナー Cressida Dick は、グルーミング・ギャングの問題は、何百年も前から存在していたもので、犯罪が増えたように見えるのは、「意識が向上した」結果であろうと言った。

<https://www.breitbart.com/london/2017/12/28/london-police-rotherham-style-sexual-grooming-gang-situation/>

「私はこれが、最近数年で新しく生まれた現象だとは思いません。そんなことない。それは、おそらく何世紀も何世紀も前から、我々の社会の一部になっている」と、彼女は主張した。

CSE（子供性搾取）の 84 パーセントは“アジア系”で、犠牲者の大多数は白人だという調査結果にもかかわらず、このコミッショナーはまた、グルーミング・ギャングは文化にも人種にも関係がないと考えているようだった。

<https://www.breitbart.com/london/2017/12/10/84-grooming-gangs-asian-report/>

——以上